

令和6年度 警報等発表時の児童生徒の登下校について

半田市教育委員会

1 「暴風警報」または「暴風雪警報」が半田市に発表された場合

(1) 登校前

※登校前に警報が発表されている場合は、登校しません。

- ・ 午前6時30分以降に、警報が解除された場合は、学校は休校です。
(午前6時30分ちょうども含めます。)
- ・ 午前6時30分になる前に警報が解除された場合は、平常通りの授業を行います。
ただし、登校が危険と判断した場合は、登校を見合わせ、安全が確認されたら登校させてください。
- ・ 給食については、暴風警報発表の可能性が高いと予測される場合には、前日中（前日が休日等の場合は、その日に最も近い平日）に中止を決定することがあります。

(2) 登下校中

帰宅するか登校するか（学校に戻るか）を選びます。児童生徒が学校に来た場合は、「(3)登校後」と同じ対応をします。

(3) 登校後

- ① 安全に帰宅できると判断した場合には、速やかに下校させます。
- ② 下校が危険と判断した場合は、安全に帰宅できると判断するまで、校内の安全な場所に待機させます。

2 「特別警報」が半田市を含むエリアに発表された場合

※「特別警報」は、警報の発表基準をはるかに超える現象に対して発表されます。「〇〇特別警報」という名称で発表するのは、大雨、暴風、高潮、波浪、大雪、暴風雪の6種類です。
(気象庁HPより)

(1) 登校前

登校しません。

(2) 登下校中

帰宅するか登校するか（学校に戻るか）を選びます。児童生徒が学校に来た場合は、「(3)登校後」と同じ対応をします。

(3) 登校後

- ① 直ちに授業を中止し、安全に帰宅できると判断するまで、学校または避難場所に待機させます。
- ② 警報解除後、安全に帰宅できると判断した場合には、小学校は通学団で、中学校は地区ごとに下校させます。

3 「大雨・洪水警報」または「大雪警報」が半田市に発表された場合

(1) 登校前

基本的には登校しますが、登校が危険と保護者が判断された場合は、登校を見合わせ、安全が確認されたら登校させてください。

(2) 登下校中

帰宅するか登校するか（学校に戻るか）を選びます。児童生徒が学校に来た場合は、「(3)登校後」と同じ対応をします。

(3) 登校後

- ① 気象状況や通学路の状況等から判断し、授業を中止して速やかに下校させることもあります。
- ② 下校が危険と判断した場合は、安全に帰宅できると判断するまで、校内の安全な場所に待機させます。

4 「雷注意報」が半田市に発表された場合、または雷が発生している場合

(1) 登校前

基本的には登校しますが、登校が危険と判断された場合は、登校を見合わせ、安全が確認され

たら登校させてください。

(2) 登下校中

近隣の建物など屋内の安全な場所に避難させてもらいます。

(3) 登校後

- ① 安全に配慮しながら、屋内で授業を行います。
- ② 下校が危険と判断した場合は、安全に帰宅できると判断するまで、校内に待機させます。

5 「津波警報」または「大津波警報」が半田市に発表された場合

※ 震源が海岸に近い地点である場合、揺れが収まらないうちに津波が到達する場合や津波の情報が十分に行き渡らない場合もあります。海岸に近く、標高の低い学校・地域では、揺れを感じたら津波警報の発表を待つことなく、安全な高台に避難してください。

(1) 登校前

- ① 登校しません。高台などの安全な場所へ避難してください。
- ② 被害がなく解除された場合は、1「暴風警報」または「暴風雪警報」が半田市に発表された場合の対応と同じです。

(2) 登下校中

高台などの安全な場所へ避難します。

(3) 登校後

- ① 速やかに安全な場所へ避難させます。
- ② 警報解除及び帰宅路等の安全が確認できるまでは、学校または避難場所に待機させます。
- ③ 児童生徒の帰宅については、学校及び避難場所からの引き渡しを原則としますが、安全が確認できる場合は、教員が引率して集団下校させることもあります。

6 「南海トラフ地震臨時情報」が半田市に発表された場合

- (1) 半田市は、事前避難対象地域に設定されていないため、原則平常通りの授業を行います。
ただし、登校が危険と判断した場合は、登校を見合わせ、安全が確認されたら登校させてください。

※「南海トラフ地震臨時情報」とは、南海トラフの東側と西側で地震が時間差で起きる場合があることに着目した仕組みで、気象庁が南海トラフ地震発生の可能性が高まっていることをお知らせし、注意を呼びかける情報です。
【調査中・巨大地震警戒・巨大地震注意・調査終了】の4種類が存在し、発生した事象に応じて発表されます。
※「事前避難対象地域」とは、後発地震の発生時に津波の到達又は津波到達前に堤防沈下による浸水で避難が間に合わないおそれがある地域で、県内13市町村が設定しています。【半田市は対象地域に設定されていません】

7 愛知県内にJアラートによるミサイル発射情報が発信された場合の対応について

(1) 登校前、家にいる場合

- ① 登校を止め、身を守る行動をとらせてください。
- ② 情報収集に努め、政府からの指示があればそれに従ってください。
- ③ 安全が確認されたら、登校させてください。

(2) 登下校中

- ① 近隣の建物など屋内に避難します。
- ② 建物がない場合、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守ります。

(3) 登校後

- ① 直ちに授業を中止し、屋内で身を守る行動をとらせます。
- ② 安全が確認されたら、授業を再開します。

【南海トラフ地震】



【備えるガイド】



愛知県公式HPより

※詳しくは「総務省消防庁HP」－「国民保護」－「全国瞬時警報システム（Jアラート）」参照

令和6年5月吉日

保護者の皆様

半田市教育委員会

「南海トラフ地震への備え」について

日頃は、本市の教育行政にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

令和6年は、能登半島地震や台湾東部沖地震、また日本国内において震度3以上の地震が多く発生しております。南海トラフ地震への備えとして「警報等発表時の児童生徒の登下校について」の中に「南海トラフ地震臨時情報が半田市に発表された場合」についての対応や「日頃の備えについてのリンク先」を記載いたしました。「南海トラフ地震への備え」として、今一度確認をお願いします。

半田市は、南海トラフ地震の想定震源域となっています。また、南海トラフ地震は発生の仕方も様々な大規模地震となることが予想されております。その中で「南海トラフ地震臨時情報」が発表される場合があります。この情報は、南海トラフの東側と西側で地震が時間差で起きる場合があることに着目した仕組みで、気象庁が南海トラフ地震発生の可能性が高まっていることをお知らせし、注意を呼びかける情報です。「調査中」「巨大地震警戒」「巨大地震注意」「調査終了」の4種類が存在し、発生した事象に応じて発表されます。その中で、後発地震の発生時に津波の到達又は津波到達前に河川・海岸の堤防沈下による浸水で避難が間に合わないおそれがある地域が「事前避難対象地域」として、県内13市町村が設定しています。「事前避難対象地域」は、「南海トラフ地震臨時情報」が発表される場合に避難の必要性があり、1週間程度の避難が必要とされています。しかし、半田市は住家や企業等常時住民のいる地点は該当していないため事前避難対象地域に設定されていません。そこで学校は、後発地震に警戒しつつ平常通り教育活動を進めます。

つきましては、南海トラフ地震への備えとして「警報等発表時の児童生徒の登下校について」内に「南海トラフ地震臨時情報が半田市に発表された場合」についての対応や「日頃の備えについてのリンク先」を記載しました。

リンク先は、下記QRコードから読み取っていただける愛知県公式HPより「南海トラフ地震 その日に備えて」「やさしい防災・減災備L（そなえる）ガイド（家庭編）」となります。参考にいただき、各項目の備えを再確認する機会としていただきますようお願いします。

今後、ご理解とご協力をお願いいたします。

【南海トラフ地震その日に備えて】

【やさしい防災・減災備L（そなえる）ガイド（家庭編）】



（愛知県防災安全局HPより）



（愛知県公式HP防災危機管理課より）